

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年 1月 5日				
すだち坂上						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・フロアの見通しが良い。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	・基準以上の職員を常に確保するようにつとめている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・バリアフリーになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日活動後には清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・宿題、パソコンの部屋があり、目的に合わせて自由に使えるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・ミーティングを定期的に行っている。	・パートさんにも積極的に参画してもらう機会を作っていくようにしたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・行っている。	・ホームページに掲載されていることを知らない保護者が多いので、知らせるようにする。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・定期的にミーティングが設けられている。昼食時などに意見交換を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		・第三者評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・法人内で研修をおこなって（月1回）全員が合周知できるようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・ホームページに記載されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・保護者の方と日頃の様子や課題を共有している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・スタッフからの疑問があるたびにモニタリングやミーティングを行い、支援計画の作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・スタッフ間で情報共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・みんなの意見を出し、それを取りまとめて作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・他店舗活動内容を聞き、取り入れている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個々のニーズを聞きながら、活動内容を検討している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・きらっとの内容を把握している。	・平日は午前に活動の準日をしながらm、話し合いなどを行うが、休日の支援の打ち合わせがバタバタとしないといけな。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・気になった子、トラブルになった子のいきさつを共有する時間がある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・記録・確認を毎日行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・半年に一度モニタリングを行い、個別面談を経て個別支援計画を作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		・子どもたちがそれぞれに思う、自立した生活の助けになるよう支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・おやつを自分で選べるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児発管が参画し、職員に周知している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・お迎え時に学校での様子を聞くようにしている。	・送迎時にちゃんと話ができる学校とできない学校の差がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・相手から情報を求められた時には提供できる。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		・卒業した子が一般就労で頑張っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		・児童館のイベントに参加したり、公共施設には行っている。	・地域のイベントなどを把握しておく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7	・分からない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・こまめに連絡を行っている。ラインなどを使い気軽に相談しやすい環境が整っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	4	・書面を見ながら、説明を行っている。その場で分からない事は後日気軽に聞けるような体制を取っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・モニタリングの前に保護者に意向を確認するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・LINEなどで気軽に相談できたり、事業所での面談がしやすい環境。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1	・父母会は保護者からの要望があれば開催するかの検討を行っていく。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情はないが、あれば迅速に対応していく体制はある。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			・ブログを行っているが、周知されていないことがある為、再度情報の発信を行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・鍵付きロッカーに情報を管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・マニュアル全般を契約時に書面にして、説明、渡すようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			・毎回同じような避難訓練になってしまう。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・服薬等の把握はしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・危険な箇所はその都度修復・改善していくようにしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・その時々で保護者にお便りを配布して、説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・事例がある場合、法人内全体で把握している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・毎月セルフチェックを行い、職員の状態を把握している。	・事例の検討を多く、行っていきたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・現在は身体拘束をやむを得ずしないといけない子はいない。	・ある場合は職員、家族の方と十分話し合いを行い、決定していくようにする。